



あぜみち

www.ja-shinshinotsu.or.jp/

今月号の主な内容

- ニュース&トピックス
 - 順調な播種・箱並べ作業開始
- 今月の技術情報
 - 育苗後半の管理
- インフォメーション
 - 繁忙期の休日対応について

第71回新篠津村農業協同組合通常総会



【写真】先を見通した農協経営と 地域農業の確立に向けて

JAでは4月5日、JA2階大会議室で第71回通常総会を開催。

=関連記事2・3面

5

JA新しの

令和元年5月号
vol. 706



第
次
の
大
事
業
の
開
催
に
あ
ら
ま
り
の
お
ま
か
り
を
お
願
い
し
ま
す

先を見通した農協経営と地域農業の確立に向けて

第71回通常総会



西井組合長の開会挨拶

JA新しのつでは4月5日、JA A2階大会議室で第71回通常総会を開催（議決数362名、内当日出席215名、委任66名、書面議決61名）。持続可能な農業基盤の構築に向けた平成31年度の事業計画・方針等を承認し、地域・組合員からより信頼されるJA事業の展開を誓った。

開会宣言をJAの早川仁史専務理事が行い、出席者全員でJA綱領を朗唱した後、西井通泰代表理事組合長が「平成30年度、当農協が設立70周年を迎え、『ミュージカルKINJIRO』の公演・宮田名誉組合員の銅像寄贈・創立70周年記念祝賀会」など様々な事業を展開させていただきました。これも一重に皆様方のご協力と、先人達の弛まぬ努力によって成し遂げられたことと深く感謝申し上げます。先を見通した農協経営・地域農業を展開するためにも平成31年度も組合員の目線に立った確実で堅実な事業展開を図っていきますので、共に頑張りましょう」と開会挨拶。

続いて、来賓を代表して新篠津村の石塚隆村長、石狩振興局の高橋朋江副局長、ホクレン札幌支所の干場啓史支所長より祝辞を受けたあと、下達布農事組合の松澤雅英氏を議長に選出し議事に入った。

議事では、平成30年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認、平成31年度事業計画の設定、70周年記念事業積立金の積立目標額の変更など6議案を上程し、全件を満場一致で承認した。

また、特別決議として馬淵弘青年部長が「JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議」を上程し、出席者全員の賛同を得た。

なお、総会前にICT地域活性化大賞総務大臣賞の伝達が行われ、石狩振興局の高橋副局長より西井組合長に表彰状が授与された。この表彰は、少子高齢化による人手不足で灯油配送が滞ることが懸念されていることから、灯油タンクのキャップにセンサーを組み込み灯油の残量を集計。そのデータに基づいた効率的な灯油配送に繋げることを目的とした実証実験を村内153戸で実施したことが評価され、受賞にいたった。



続々と受付を済ませる



出席者全員でJA綱領を読み上げる

第71回通常総会スローガン

「相互扶助」「共存同栄」の精神のもと激動する時代を乗り越えよう
売れる米づくりを基本に新しいつ型水田輪作体系の確立を目指そう



議長の松澤さん



特別決議を上程する馬淵青年部長



質疑応答をする佐々木さん



質疑応答をする斉藤さん



満場一致で承認



当選に笑顔溢れる



命運を握る抽選



ICT地域活性化大賞を受賞

順調な播種・苗箱並べ作業

水稻播種・苗箱並べ作業が始まる



豊作を願い作業を進める

4月に入り水稻の播種・苗箱並べ作業が村内各地で始まり、本格的な農作業シーズンの到来を告げた。

4月11日から5日間に渡り播種・苗箱並べ作業を進めたのは、上篠津農事組合の北野清美さん。4月上旬の好天により温床の乾田は促進したことから、昨年より2日ほど早いスタートとした。基幹品種である「ななつぼし」のほか、業務向けの「きんしつ397」の2品種を約10畝作付する計画。

北野さんは「例年であれば道路脇の高い雪山をみながら苗箱並べ作業を進めているが、今年は融雪が進み、播種作業の準備をスムーズに行うことができた。これからの育苗管理に努め、高品質米生産を目指していきたい」と豊穣の秋に願いを込めて話した。

なお、本年の水稻作付面積は主食用・加工用・新規需要米合わせて、昨年より41畝増の2,637畝を予定している。

子どもたちのより良い生活に向けて

子ども食堂へ「新しのつ」米贈呈

JAでは4月10日、札幌市手稲区の子ども食堂「ぐれぐす」へ新篠津産ななつぼし「新しのつ米」を10kg贈呈した。子ども食堂とは、一人でごはんを食べられない地域の子どものために無料で、低額で食事を提供する取り組みで、地域の交流の場としての役割も担っている。

この取組みは、JAグループ北海道や北海道生協連などが協同で社会貢献と同時に子どもたちの居場所づくりや食育の一環として「子ども食堂への支援」を行うもので、JA新しのつとしては、昨年より毎月10kg（計120kg）のお米を贈呈する運びとなった。

贈呈に当たり、長屋春美信用担当理事は「また今年も新しのつのお米をたくさん食べてください」と子ども食堂代表の亀岡純子氏に手渡した。

その後、この活動が開始して今年で1年が経過した事もあり、子ども達から感謝の言葉と感謝状が贈呈された。今回は約10品の料理が並び、新しのつ米を使った、おむすび・おいなりさん・ピラフが並んでいた。中でもおむすびはあつという間に無くなってしまうなど、子ども達にも新しのつ米は人気だった。

なお、この取組みについては、昨年に引き続きJA共済・地域農業活性化促進助成を活用して行われている。



新しのつ米を堪能してください

新篠津村のPRに向けて

ふるさとPR活動「YES! clean米」贈呈式



新篠津村をPRをお願いします！

JAとクリーン米生産組合（山元靖規組合長・金伍直樹相談役）では4月16日、新篠津中学校に「新しのつ米」(YES/clean米)「ななつぼし」60kgを贈呈した。

この取組みは、新篠津中学校の生徒が関東方面への修学旅行と札幌市内での宿泊学習先で新篠津産米を配布し、新篠津村をPRすることを目的に行われ、今年で5回目となる。

当日は、山元組合長と金伍相談役が中学校を訪れ「昨年より精米施設ができたパッケージも変わっていますが、毎年お米を配っているので東京の消費者の方にも覚えて頂けると感じています。今後も毎年続けて新しのつをPRしてお互いに新しのつ村を盛り上げていきましょう」と3年生の大塚皓介くん、2年生の高田芽依さんに手渡した。

受け取った生徒は「たくさんのお米をありがとうございます。新しのつを知らない人たちにしっかりPR出来るよう多くの人に配って行きます」と感謝を述べた。

異常気象に対応できる技術習得を目指して

野菜生産組合研修会&通常総会



天候に左右されない栽培にむけて

野菜生産組合(早刈徹哉組合長)では3月26日、JA2階大会議室で研修会と第22回通常総会を開催。8つの生産者部会から代議員ら48名が出席した。

研修会では農業振興センターの堀下弘樹副主幹を講師に招き、土壌診断の概要や、地区別の土壌特性、今後の対策などについて説明。作物に合った、土壌改良の重要性について学んだ。

続いて開催した通常総会では、開会に当たり早刈組合長が「昨年は、長雨や日照不足など異常気象に苦しんだ1年となりましたが、今年度は部会相互の情報交換を密に行い、異常気象に対応できる栽培技術を身に付けましょう」と挨拶。

総会では議長にメロン部会の安田直弘さんを選出し、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画、役員改選など全5議案を審議した。事業計画では、適切な情報提供、契約販売の強化、生産履歴記帳の徹底など5項目を基本方針に栽培面積125haで販売高4億8千万円を目標に掲げた。組合員からは事業計画の内容などについて活発な意見・質問が出されていた。

農業体験を通して都市と農村の交流を図る

農業振興センター第7回通常総会

農業振興センター(西井通泰会長)では4月10日、JA2階大会議室で第7回通常総会を開催。村、JAなどの関係者ら20名が出席した。

同センターは村、村議会、村農業委員会、JA新しのつ、石狩農業改良普及センター、村指導農業士・農業士会で構成され、各機関が一体となり、地域農業の持続的・安定的な経営基盤の確立と農業の持つ多面的機能を発揮した地域経済の活性化を目的としている。

開会にあたり西井会長は「ここ10年では、新篠津は他の地域に比べて新規就農者が多い。これからの農業や地域産業の為に、婚活や担い手事業には力を入れていきたい」と挨拶。

に収支予算などについて審議された。

なお、事業計画では「農地流動化対策・担い手育成確保対策・クリーン農業の推進・都市と農村の交流」など4つの項目を決議したほか、参加者の意識向上によるパートナー対策強化に取り組みすることを確認した。



関係機関の意志を統一

令和元年の営農に向けた気象予報

新篠津村生産振興会現地研修会



冷夏に注意を!

新篠津村生産振興会(中川芳春会長)では4月11日、川上共同育苗利用組合と川下共同育苗センターにて現地研修会を行い、合計30名の会員らが参加した。

開会にあたり中川会長は「雪融けが進むが遅く、農作業もスムーズに行かないが、今回の研修を参考に例年よりも良い物を収穫出来るように目指しましょう」と挨拶。

講師には、JA農業技術アドバイザー稲津脩氏と石狩農業改良普及センター石狩北部支所主査阪村祐氏他2名を招き、「今年度の営農に向けた気象予報について」「健苗育成にむけた水稲育苗管理について」「収量確保にむけた小麦追肥技術について」それぞれ説明を受けた。

稲津氏からは今年の気象予報について「エルニーニョ現象が続いている影響を受け、北日本では冷夏になる可能性があり、作況指数は92〜94である」と予測した。

栽培技術の向上と優良な農家経営に向けて

営農問題研修会

青年部（馬淵弘部長）では、農業に関する知識を拡げ自己研鑽することを目的に営農問題研修会を開催。「これからの営農に向けて知識を深め技術を学ぼう」を全体テーマに設定し、各支部で学習内容を決め、研修会を行った。



それぞれのテーマで有意義な研修

講師には、一般社団法人北海道米麦改良協会の相川宗厳技監、高橋義雄技監、ホクレン営農支援室の大上大輔技師、石狩農業改良普及センターの橋本竜之係長、阪村祐主査、JAの水島孝営農企画課長を招き、主要三品目の栽培技術、なまぐさ黒穂病の情報提供、稚苗の苗管理・税務処理などについて学んだ。

各研修会の参加者らは、講師の話に聞き入り、活発な質問が出るなど有意義な研修会となった。

各支部の学習内容は次のとおり、

《支部テーマ》

- 第1・第2支部（相川技監・高橋技監）
「主要三品目の省力化に向けた栽培技術と、なまぐさ黒穂病の情報について」
- 第3支部（橋本係長・阪村主査）
「水稻の水管理と稚苗の栽培技術について」
- 第4支部（水島課長）
「農家経営の仕組みと投資について」
- 第5支部（水島課長）
「農家経営と税務処理について」

大雪でも大勢の来場者で賑わう

農機・自動車・中古農機展示即売会



クジ引きによる抽選

JA機械センターでは、本格的な農作業を目前に控えた3月27日、28日の両日、JA野菜花卉集出荷施設前にて「農機・自動車・中古農機（アールダ）展示即売会」を開催。

展示即売会では、最新鋭の田植機やトラクター、農機具部品、中古自動車等を豊富に展示した。

会場には組合員のほか、他市町村からも多くの来場者が集まり、熱心に品定めをする光景が見られた。同じ商品に対し複数の購入希望者が出た場合には、くじ引きによる抽選を行い、購入権を勝ち取った来場者からは笑顔がこぼれていた。

また、来場者には購入金額に応じてボックスティッシュが配布されたほか、冷えた身体を温める豚汁が振る舞われ、来場者のお腹を満たした。黒壁忠センター長は「生憎の大雪にも関わらず、今年も沢山の来場者に来ていただき、大いに盛り上がった。農作業事故には十分注意し、春耕期に向けての準備を整えて欲しい」と話した。

交通安全を祈願し小物入れを手渡す

女性部フレッシュミズ



入学おめでとう！

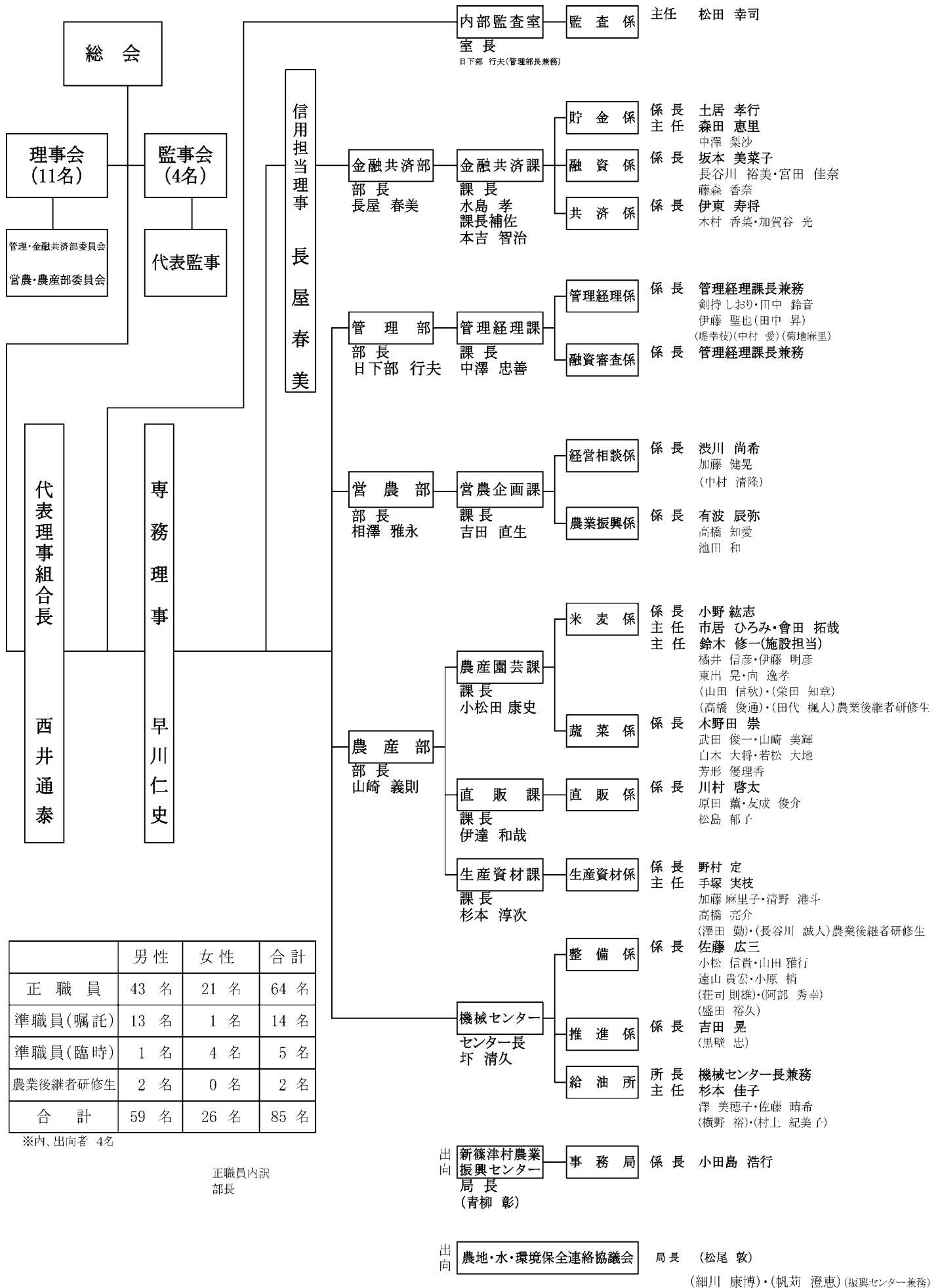
女性部フレッシュミズ（堤祥江会長）では4月6日、新篠津小学校の入学式で新1年生23人に手作りの小物入れを贈った。

この催しは昭和54年の国際児童年にちなんで子供たちに交通安全のメッセージをプレゼントしたのが始まりで、今年で41回目の取組みになる。

フレッシュミズの会員が一つ一つ手作りし、新1年生の希望に溢れた新生活と、安全な学校生活を送れるようにと願いを込めた。

当日は、藤原由佳理副会長が一人一人に手渡し、「入学おめでとうございます。交通安全に気を付け、充実した学校生活を送ってください。皆さんが立派に成長する姿を楽しみに見守らせていただきます」と声をかけた。なお、受け取った新入生らは、「ありがとうございます」と大きな声でお礼を述べた。

JA新しのつ機構図 (令和元年5月1日現在)



	男性	女性	合計
正職員	43名	21名	64名
準職員(嘱託)	13名	1名	14名
準職員(臨時)	1名	4名	5名
農業後継者研修生	2名	0名	2名
合計	59名	26名	85名

※内、出向者 4名

正職員内訳
部長

出向 農地・水・環境保全連絡協議会 局長 (松尾 敦)
(細川 康博)・(帆苺 澄恵) (振興センター兼務)

今月の技術情報

石狩農業改良普及センター石狩北部支所
TEL.(0133)23-2146 FAX.23-2887

【秋まき小麦】（きたほなみ）

1 幼穂形成期の分追肥

幼穂形成期の分追肥は主に一穂粒数を増加させて収量を高めます。

止葉期の分追肥は主に千粒重の増加に効果があります。

それぞれの時期に窒素成分量で10a当たり4kgを上限とし、生育を見ながら施肥量を加減しましょう。



2 病害防除

(1) うどんこ病

「きたほなみ」は耐病性が「やや強」ですが、過繁茂や窒素過多による軟弱な生育の場合は発生を助長します。

(2) 赤さび病

5月が高温多照に経過すると発生を助長します。近年発生が増えており、連作ほ場では特に注意が必要です。下葉に病斑を発見したら、早期に防除を実施しましょう。

【大豆】

1 は種

(1) 平均気温が10℃以上（平年は5/10以降）になったら行い、5月下旬までに終了しましょう。

(2) は種板は、種子の大きさに合ったものを使用しましょう。

(3) 出芽を揃えるため、適度な土壤水分時には種しましょう。土壤が乾燥している場合は、やや深めには種し、しっかり鎮圧しましょう。

(4) 出芽時の障害を防ぐため、種子消毒（種子塗沫又は種子粉衣）を実施しましょう。

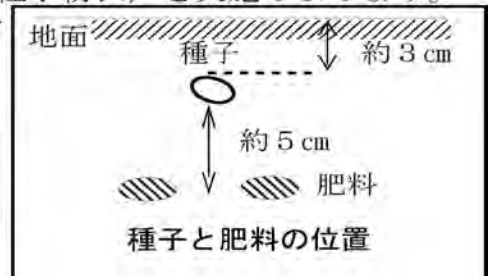
(5) ほ場毎に、は種テストを行い、株間・覆土深・肥料（薬剤）の位置を確認し、調整しましょう（右図参照）。

※狭畦栽培を行う場合

(1) なるべく広葉雑草の少ないほ場を選びましょう。

(2) は種量は通常の2～2.5倍が目安となります。

(3) 確実に鎮圧を行い、発芽を揃えましょう。



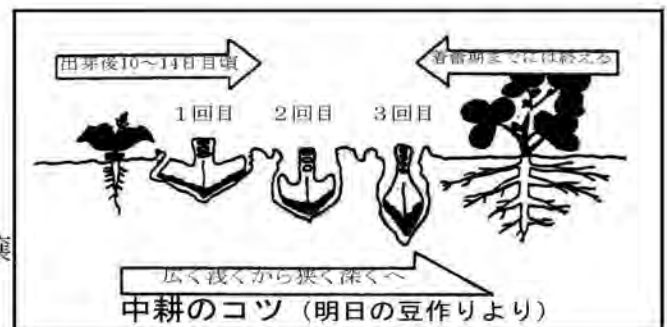
2 中耕管理

(1) 効果

- ① 雑草の発生抑制
- ② 土壤の通気性が良好になる
- ③ 地温の上昇
- ④ 根粒菌の活性が高まる

(2) 時期

- ① 通常は出芽後10～14日目、または土壤処理除草剤の効果がなくなった頃。
- ② 以降10日間隔で1～2回実施する。



＝焦らず慎重に、農作業事故には十分注意しましょう＝

【秋まき小麦】（きたほなみ）

1 幼穂形成期の分追肥

幼穂形成期の分追肥は主に一穂粒数を増加させて収量を高めます。

止葉期の分追肥は主に千粒重の増加に効果があります。

それぞれの時期に窒素成分量で10a当たり4kgを上限とし、生育を見ながら施肥量を加減しましょう。



2 病害防除

(1) うどんこ病

「きたほなみ」は耐病性が「やや強」ですが、過繁茂や窒素過多による軟弱な生育の場合は発生を助長します。

(2) 赤さび病

5月が高温多照に経過すると発生を助長します。近年発生が増えており、連作ほ場では特に注意が必要です。下葉に病斑を発見したら、早期に防除を実施しましょう。

【大豆】

1 は種

(1) 平均気温が10℃以上（平年は5/10以降）になったら行い、5月下旬までに終了しましょう。

(2) は種板は、種子の大きさに合ったものを使用しましょう。

(3) 出芽を揃えるため、適度な土壤水分時には種しましょう。土壤が乾燥している場合は、やや深めには種し、しっかり鎮圧しましょう。

(4) 出芽時の障害を防ぐため、種子消毒（種子塗沫又は種子粉衣）を実施しましょう。

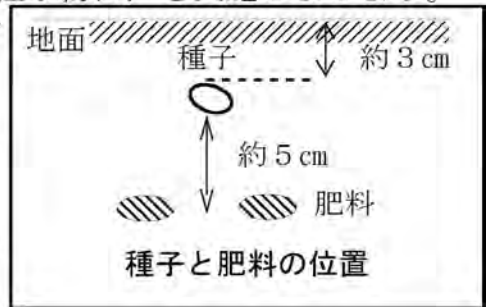
(5) ほ場毎に、は種テストを行い、株間・覆土深・肥料（薬剤）の位置を確認し、調整しましょう（右図参照）。

※狭畦栽培を行う場合

(1) なるべく広葉雑草の少ないほ場を選びましょう。

(2) は種量は通常の2～2.5倍が目安となります。

(3) 確実に鎮圧を行い、発芽を揃えましょう。



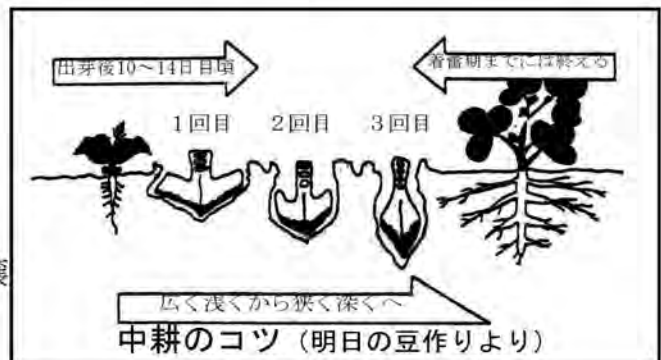
2 中耕管理

(1) 効果

- ① 雑草の発生抑制
- ② 土壤の通気性が良好になる
- ③ 地温の上昇
- ④ 根粒菌の活性が高まる

(2) 時期

- ① 通常は出芽後10～14日目、または土壤処理除草剤の効果がなくなった頃。
- ② 以降10日間隔で1～2回実施する。



= 焦らず慎重に、農作業事故には十分注意しましょう =

平成31年度 理事会 第3回 平成31年4月23日(火)

報告事項

- ① 農協財務状況報告(3月末)について
- ② 平成31年度給与改訂について
- ③ 平成30年度税務申告について
- ④ 職員の採用並びに人事異動について
- ⑤ 組合員の加入について
- ⑥ 組合員の脱退について
- ⑦ 内部監査室監査の実施結果について
- ⑧ 内部審査の実施結果について
- ⑨ 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項の報告について
- ⑩ 平成31年度総合的なリスク管理について
- ⑪ 保管業務状況について

- ⑫ 平成31年度野菜花卉・の出荷状況について
- ⑬ 助成金の支出について
- ⑭ 平成31年度女性部役員と農協役職員との懇談会回答について
- ⑮ 常勤役員の動静について

付議事項

- ① 「組合と理事との契約」について
- ② クミカン貸越極度額設定に伴う信用限度超過について
- ③ 特定組合員の設定及びクミカン取引に係る組合員の資金借入計画について
- ④ 平成31年度各種工事等参加願届出業者について
- ⑤ 負担金及び助成金の支出について
- ⑥ 組合員の出資持ち分譲渡について
- ⑦ リース取引による固定資産の賃借について
- ⑧ 規程の改正について

上記の事項について報告、協議、承認されました。

平成31年度 臨時理事会 平成31年4月5日(金)

報告事項

- ① 農業後継者研修雇用制度研修期間満了に伴う慰労金の支給について

付議事項

- ① 平成31年度理事報酬について
- ② リース取引による固定資産の賃借について
- ③ 北海道へ提出する行政庁用業務報告書について

上記の事項について報告、協議、承認されました。

繁忙期の休日対応について

部 門	期 間	営 業 時 間
生産資材課	4月28日～5月6日	土・日・祭日 8:30～17:00
機械センター	5月4日～5月19日	土・日・祭日 8:30～17:00
給油所(JAOC 配送)	通常営業	7:00～19:00

※繁忙期の状況により、期間等を変更する場合があります。

※給油所電話番号
TEL(直通):57-2810
FAX:57-2818

グリーンツーリズム しんしのつ

農業が感動と笑顔を作ります!!



受入農家募集

- グリーンツーリズムしんしのつでは、新規受入農家を募集しています。
- しんしのつの豊富な農業資源を活かし、都市と農村の交流を一緒に図りましょう!!

興味のある方は、新篠津村農業振興センター内 グリーンツーリズムしんしのつまで ☎ 58-3611 担当:青柳 彰

家の光図書 2019年5月の新刊

※貸し出しを行っていますので、詳しくは、営農企画課までご連絡下さい。

【定価は全て税別】



宇田川佳子・斉藤よし江・田口裕之監修 定価1,400円

日陰をいかす 四季の庭づくり



『やさい畑』菜園クラブ編 定価1,500円

プロが教える 超図解 野菜の生育診断&回復ワザ



堀 知佐子著 定価1,300円

少ない調味料とポリ袋でできる もみもみ 焼くだけレシピ



西の里

北川 結名

父：敬太 母：奈央
趣味：LINEマンガをみること

私の「我が家のヒーロー」は、ペットのハムスターだと思います。なぜなら、すごく小さいし仕草が可愛くて癒されるからです。お世話は少し大変ですが、えさを食べてる姿や寝てる姿をみるだけで癒されます。そんな私達を癒してくれるハムスターは、「我が家のヒーロー」だと思います。



こんにちは赤ちゃん

はやし

萌出

林

み

こちゃん

平成30年3月1日生まれ 大亮・まどかさんの次女

ママからのメッセージ

生まれた時は小さめだったけど、たくさん食べてたくさん遊んで、お姉ちゃんに追いつくくらい大きくなったね！

たべるの大好き、お姉ちゃん大好き、おしゃべり上手でたくさん元気をくれるみこちゃん♡
これからもすくすく大きくなってね♡

みんなの伝言板



なまかまど文芸

春泥の靴並びをり集会場

沢庵の香こらやかなつかし友の味

洞爺湖の湖心に揺れる春の鴨

ランドセルかたかた踊り一年生

白鳥の編隊の空鈍色に

山笑ふ抱きし乳飲みみずしりと来

送られし竹の子包むローカル紙

川柳サロン

春山菜苦味五感を目覚めさせ

束の間の茶髪改め進学す

これあげるおきみこ幼子の手の梅一輪

春の山眺め心を落ち着かす

湯の宿のあしたへ挑み姪菜立つ

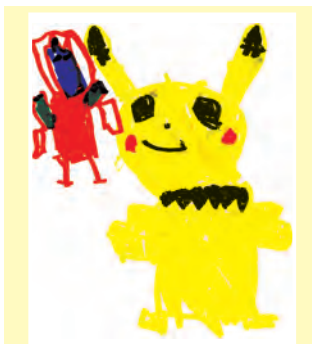
春風や老いて鬨志の空回り



伊藤 ちい

(新西篠津 / 4歳)

大好きなプリンセスの中からシンデレラをえらんでかきました。(おねえちゃん二人が少しおてつだいました。)



はねだ そら

(新湧 / 6歳)

ピチュウとゲンゴムシをかきました。



中村 優樹

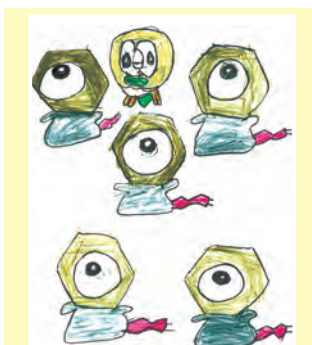
(南ヶ丘 / 8歳)

ポケモンのメルタンを書きました。



さとう てんむ

(萌出 / 6歳)



中村 とし樹

(南ヶ丘 / 7歳)

ぼくは、ポケモンのメルタンとモクローをかきました。



さとう そうた

(黎明 / 7歳)



佐藤 信子

(南ヶ丘 / 75歳)

4月に入り桜の咲く頃です。しだれ桜とメジロです。



小柳 明子

(ふらわ / 44歳)

新元号『令和』を描きました♡

鷹	左	中	水	詩	旗	水	志	波	中	佐	三	高
多	党	村	志	牙	乃	島	賀	野	村	藤	浦	田
家	千	案	磨	和	キ	和	千	芳	家	豊	佳	女
豊	佳	山	君	猿	華	ミ	勝	歌	孝	佳	女	豊

編集後記

今月号から人事異動に伴い新しい担当者に代わりました。これからもみなさんの興味を引き、楽しんでもらえるような「あぜみち」を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

初めての広報誌を作るに当たって感じたことは、「広報の構成・文書・写真」すべてが今までの生活で深く考えたこの無い分野で、「何を書けば良いんだろう。こんな写真でいいのだろうか」と不安いっぱいスタートでした。しかし、組合員の方々、元広報担当の先輩からアドバイスを頂いてなんとか5月号を完成させることができました。さて今年は雪融けが思うように進まず、農作業もスムーズに進まない事もあると思いますが、農作業事故には充分気をつけて豊穰の秋をむかえて頂きたいです。

お便りやイラストを募集しています

食や農業、地域の話など、日ごろ感じていることを折り込みはがきでお便りください。採用された方には謝礼をお送りします。

また、カラーイラストや写真もお待ちしております。

【あて先とお問い合わせ先】

〒068-1193 石狩郡新篠津村第47線北13番地

JA新し のつ 営農部営農企画課 ☎ 0126-57-2311

E-mail: tomonarisyunusuke@shinshinotsu.ja-hokkaido.gr.jp

※JA金融窓口とホクレンショップに応募箱があります。

- 発行/新篠津村農業協同組合
 - 編集/営農部営農企画課
 - 住所/〒068-1193 石狩郡新篠津村第47線北13番地
 - 電話/0126(57)2311(代表)
 - ホームページ/http://www.ja-shinshinotsu.or.jp/
 - 印刷/弘文社印刷(株) 岩見沢市5条東11丁目
- この『あぜみち』は環境にやさしい道産間伐材配合紙を使用しています。